

第7回 富津市立青堀小学校改築基本構想・基本計画検討委員会会議 会議録

1 会議の名称	第7回 富津市立青堀小学校改築基本構想・基本計画検討委員会
2 開催日時	令和5年6月16日（金） 午後1時30分から午後2時55分まで
3 開催場所	富津市役所4階 401会議室
4 審議等事項	議題 建設計画及び事業スケジュールの見直しについて
5 出席者名	（委員） 河野 信成、安藤 玲仁、野尻 剛史、榎本 孝、 小柴 晴雄、高橋 栄美子、檜山 小百合、 平野 恵子、若月 忠光、平野 勉 （事務局） 教育長 岡根 茂、教育総務課長 中山 淳子 教育総務課施設係長 山下 知哉、教育総務課主任主事 鈴木 賛 教育総務課主任主事 鳥海 翔也、学校教育課主幹 宮崎 悟 都市政策課長補佐 草刈 孝昭、都市政策課主査 河井 隆朗 （基本構想・基本計画策定支援受託者） 株式会社榎本建築設計事務所 高梨 修、神野 マミ
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 非公開の理由	（理由）
8 傍聴人数	5人
9 所管課	教育部教育総務課施設係 電話 0439-80-1348
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

第7回 富津市立青堀小学校改築基本構想・基本計画検討委員会会議録

発言者	発言内容
<p>事務局 (山下係長)</p>	<p><次第1 開会></p> <p>こんにちは。本日はご多用のところ、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。会議の進行を務めさせていただきます、教育総務課の山下です。よろしくお願いいたします。それでは開会に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>【資料確認】</p> <p>続いて、事務連絡を2点させていただきます。</p> <p>1点目、会議資料の中で、青堀小学校改築基本構想・基本計画検討委員会設置要綱新旧対照表がございます。ご覧いただけますか。第3条について改正がございます。左側は改正前、右側が改正後の内容となっております。4月に改正しておりますので、内容をご説明いたします。第3条第2号(2)と表記しているところがございますが、これまで青堀小学校から、検討委員として、校長および教頭の職にある者2名を委嘱しておりましたが、表の右側でございますように、令和5年度から、校長の職にある者のみといたしました。こちら理由については、青堀小学校の職員体制として、昨年度は教頭が2名体制でございましたが、今年度から1名体制となりましたので、学校運営を考慮して、校長1名を検討委員として委嘱をいたしましたのでお知らせします。そのため、委員総数10名となります。</p> <p>2点目です。柳澤アドバイザーにつきましては、今回ご出席いただいておりますけれども、今回の議題につきまして、事務局から事前に相談をさせていただきまして、ご意見を頂戴しております。今回会議の内容が市の方針の変更の説明であること、また、教授ご自身の業務が重なったこともあり不在となりますが、次回以降また引き続き、ご出席いただく予定ですので、</p>

あらかじめご了承願います。

それでは、ただいまから第7回富津市立青堀小学校改築基本構想・基本計画検討委員会を開会いたします。

初めに本日の出席状況を報告させていただきます。10名全ての委員にご出席いただいております。なお、本日、傍聴者が5名いらっしゃることをご報告させていただきます。

<次第2 会議録署名人の指名>

それでは次第の2、委員および事務局の紹介です。新しく2名の方を検討委員として委嘱し、今回会議からご参加いただいておりますので、事務局より紹介させていただきます。

【新しい委員の紹介】

今回、年度が替わりまして、初めての会議となりますので、改めて他の委員の皆様もこちらの方からご紹介させていただきます。名簿の順にお名前をお呼びいたしますので、恐れ入りますが、その場でご起立いただき、一言頂戴したいと思います。

【委員及び事務局の紹介】

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは早速議事に移ります。以降の会議の進行につきましては、平野委員長にお願いいたします。

平野委員長

はい。それでは改めましてこんにちは。教育部の平野です。新たに2名の委員をお迎えいたしまして、新体制として第1回目の検討委員会となります。円滑な議事進行に努めてまいりますので、皆様方におかれましても、引き続きよろしくお願いいたします。

<次第3 会議録署名人の指名>

それでは次第の3、会議録署名人の指名でございますが、今回は野尻委員と若月委員にお願いしたいと思います。よろしく

お願いいたします。

< 4 議題 >

それでは議題に入らせていただきます。建設計画および事業スケジュールの見直しを議題といたします。事務局に説明を求めます。

事務局

(中山課長)

はい。それでは、建設計画および事業スケジュールの見直しについてご説明させていただきます。

大佐和中学校屋内運動場の改築に伴い、青堀小学校の校舎等改築事業を1年先送りすることは、3月3日開催の第6回検討委員会においてご説明いたしました。その後、様々な状況の変化を考え合わせ、学校施設整備計画全体の検討を重ねてまいりました。当初、校舎、屋内運動場、プールを一時に建設するとしてご説明した、青堀小学校校舎等改築事業の建設計画の見直しを行い、スケジュールを変更することといたしましたので、資料に沿ってご説明いたします。まず資料1をご覧ください。計画変更の理由を3点ご説明いたします。

1点目は、事業費増嵩の影響です。事業費が大きく膨らんだ主な要因として、教育関連事業費が集中したこと、資材費の高騰、労務費単価のアップが今後も中長期的に、さらに続く見込みであること。例えば1億円で調達できていたものが、1億2000万円でなければ調達できない。それが10億円であれば12億円となる。全体で考えると大変な影響額となります。これは教育関連の事業にとどまらず、市全体の事業にもこれから大きな影響を与えると見込まれております。

さらに、学校施設に対し、求められる機能への対応が必要なことも事業費を大幅に押し上げます。例えば、照明ですが、現在教室や体育館で使用している照明の多くが蛍光灯や水銀燈であり、既に多くのメーカーが生産を終了しておりますので、

学校施設も早期に LED への切り替えが必要となります。

また、特別教室や体育館への空調設備の設置や、太陽光発電装置の設置、高断熱化など、施設だけでなく、設備にも多様な機能が求められ、コストが嵩むこととなります。

2点目は、良好な教育環境を確保する一方で事業費増嵩の影響を抑えるため、建設費を縮減できる方策を検討いたしました。例えば、校舎と体育館を一体型とすると、建設費は安くなるのか。また今の校舎と同じ鉄筋コンクリート造りではなく、鉄骨造りに構造を変更したらどうなのか、など柳澤アドバイザーにも相談いただきましたが、いずれも建設費にはあまり影響がなく、大幅な事業費の縮減は見込めないとのことでした。

学校の規模を見直すことで、建設コストを下げることはできますが、現時点で建設面積として想定しているものは、文部科学省が示している基準面積で算出しており、建設面積を大きく削減することは難しいと考え、仮にこれを見直しても億単位の縮減は困難であると考えております。今後の設計で教育活動や学校運営に必要な面積で適正に積み上げていく考えです。

資料の裏面をご覧ください。3点目では、学校施設整備計画全体への影響が大きいことを挙げております。多くの学校施設は、昭和40年代から50年代に建設され、青堀小学校以外の学校施設の老朽化が進んでおり、既に建築後50年が経過した学校施設もあります。多くの学校施設が大規模な改修または建て替えの時期を迎えていますので、多くの費用が必要となります。

こうしたことを考え合わせ、資料の四角の囲みにあるように、児童が一番過ごす時間が長く、アンケートでも一番好きな場所と挙げられた教室の整備、校舎建築を最優先とし、まずは児童の教育活動に支障が出ないように、校舎を建設し、屋内運動場、プールは、将来検討することといたします。

昨年度第第1回の会議資料で、3つの案をお示しし、一時に改築するC案から、まずは校舎を改築し、屋内運動場、プールは将来的に計画するB案に変更をいたします。しばらくの間は、屋内運動場とプールは現在のものを使用するため、改築後の校舎とは渡り廊下で結びます。

屋内運動場は、耐力度調査の結果では、ステージ後方の壁面、および道路に面した壁面の風に対する性能がやや低いため、暴風時に間柱が曲がり、壁が大きく変形する恐れがあるとされましたので、対象の壁面の補強を行い、使用することといたします。

青堀小学校の体育館は、平成24年度に大規模改修をして、屋根掛け替え、外壁塗装、そして耐震補強として構造の補強を行い、耐震性は確保されておりますが、今後も使用していく中で、異常や異変には早期に対応してまいります。

プールについても、必要な補修等を行い、安全な教育環境のもと、水泳の授業が実施できるように努めてまいります。

次に《事業想定スケジュールの見直し》についてご説明いたします。上段は、当初にご説明した想定スケジュールで、下段が1年先送りの校舎のみ改築に変更した、見直し後の想定スケジュールです。令和6年度、7年度で、基本設計・実施設計を、令和8年度に造成工事を行い、令和9年度に校舎改築に着手。屋内運動場、プールは既存のものを使用するため、同時期に渡り廊下建築工事を行います。

屋内運動場とプールの建設が無い分、工期が短くなると想定されますので、令和10年度中に完成、供用を開始する見込みの計画といたします。屋内運動場およびプールの改築時期については、今後の学校施設整備全体、他の学校施設、校舎整備の進捗状況および財政の状況に応じて、改めて検討することといたします。以上が建設スケジュールの見直しについての説明で

す。

続きまして、検討委員会開催状況及び今後の想定テーマについてご説明いたします。

昨年度、計6回の検討委員会を開催し、校舎、屋内運動場、プールを一度に改築するC案に基づいて、建物の配置などを具体的に検討いただきました。建設計画スケジュールを変更はいたしますが、基本構想や基本計画に盛り込む内容に変更はございません。

建設時期は将来に先延ばしても、新しい屋内運動場や、プールをどこに作るか、校舎からの動線はどうかというようなことは、校舎の配置計画の中で意識しておく必要がありますので、これまでディスカッションをしていただいた内容は、基本計画に反映いたします。今年度の検討委員会でも引き続きの検討をお願いいたします。

資料2をご覧ください。表の中段6月16日、本日が第7回、7月に児童のワークショップを実施いたします。柳澤アドバイザーと研究室の学生にご協力いただき、青堀小学校の6年生を対象に行う計画です。

児童に緊張感を与えないため、見学は行わず、次回の検討委員会会議においてご報告をいたしますので、ご了承ください。9月に次回8回の検討委員会を開催し、皆様には、「校舎の空間構成を考えよう」ということをテーマに、グループディスカッションをお願いする予定です。

昨年度に校舎の配置を考えていただきましたので、基本的にはその案をもとに、教室等の配置を考えていただく予定ですが、詳細は今後詰めていきたいと考えております。

12月に第9回検討委員会を開催し、それまでの検討結果を盛り込み、取りまとめた基本計画案をお示しし、皆様にご議論いただく計画としておりますが、9月の検討委員会後に、さらに

<p>平野委員長</p>	<p>議論が必要なテーマがあるようでしたら、皆様に日程の追加をお諮りしたいと考えております。日程を追加する場合、基本計画案の取りまとめを少し延ばし、基本計画案の議論を1月に変更し、12月に追加の会議を開催したいと考えております。</p> <p>検討委員会での案を取りまとめた基本構想・基本計画案は、年が変わって、2月に教育委員会定例会へ報告する計画としておりますので、ご協力をお願いいたします。青堀小学校改築事業に関するご説明は以上です。ご理解くださるようお願い申し上げます。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>はい。事務局の説明が終わりました。この件について、何かご意見、ご質疑、確認したい点等がございましたらよろしくお願ひします。はい、榎本委員。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>事業費の高騰等により予算がないということで、全面改築ができなくなってしまうというお話でしたが、今の青堀小学校の体育館は改築予定の大佐和中学校の体育館と築年数がどのくらい違うものですか。</p> <p>体育館だけで見ると、大佐和中学校の方がかなり新しいのですが、前回の検討委員会でもご説明したように、大佐和中学校の体育館に関しましては、構造部材の一部に亀裂が生じており、今後、東日本大震災等の大きな揺れが襲ったときに、安全確保されないという現状になっておりますので、リスクを回避するために、大佐和中学校体育館は改築する方向とさせていただいております。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>青堀小学校の体育館は上の窓ガラスが落下する可能性もあるため、あまり窓を開閉しないというようなお話をお聞きしました。避難所として現状のままでよろしいのでしょうか。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>防災の方から報告は無く、現状の窓ガラスが落ちてしまうというお話は、把握はしておりませんが、今の避難所として、安全に使えるように必要な補強は行って使用していきたいとい</p>

<p>榎本委員</p>	<p>うように考えております。</p> <p>ただ費用が無いからできないというのは、教育施設ですので、初めの計画から、体育館を想定に入れないということは、惜しいのではないかと思います。あくまでも計画の中に入れていただいて、計画を進めていくにつれて、やはり体育館とプールは既存のものを利用しようとなったら仕方のないことだと思います。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>言葉が足りず、大変申し訳ございません。計画からなくすということではなく、財政的なことも多々ございますが、将来的に改築は行う予定です。本計画では、校舎と同じタイミングでというのは少しお時間を置かせていただきたいというお話をさせていただきました。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>富津市全体では、物価が高騰すると、財政的に大変になってくると思います。その中で、富津市でも少子化を見込んでいますので、学校建設にお金をかけられない状況になる可能性もあるので、将来の小学校の統合を視野に入れた建設も考えていかなければいけないのかなと思います。</p>
<p>平野委員長</p>	<p>榎本委員のご質問ですが、整備の段階的な方向というところはお理解いただけただけということではよろしいでしょうか。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>はい。承知いたしました。</p>
<p>平野委員長</p>	<p>統合を視野に入れた建設も考えていかなければいけないというご意見は、この当該学校以外のご質問ということではよろしいでしょうか。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>そうではなくて、将来、富津市の子供が減少する見込みということはわかっていますよね。あちこちの学校を直していくと、いくらでも予算が嵩んでしまうと思います。</p> <p>青堀小学校を改築するにあたって、他の新しい学校は作れない状況の中で、将来、統合とかもあるかもしれません。青堀小学校にはある程度のお金をかけるというのは必要だと思います。</p>

平野委員長	す。 事業計画の中身のお話ではなく、学校建築に関するお金をかけた方がいいというようなお話でしょうか。
榎本委員	資材高騰の影響で、今は屋内運動場とプールがすぐには作れない見込みになっているわけですよ。今遠い目標になってしまっているのは残念です。
平野委員長	ご意見ありがとうございます。ここで榎本委員の意見に対しまして、他の委員の皆様、ご意見をいただきたいのですがよろしいでしょうか。はい、安藤委員。
安藤委員	渡り廊下を建設するとなると建設費用、解体費用が必要になるため、私も体育館の改築をしてほしいと思います。 また、B案とC案では具体的にどのくらい金額が異なるのでしょうか。
事務局 (中山課長)	具体的な数字は申し上げられませんが、校舎だけでなく、体育館やプールまで将来的なところまで含めたら、安藤委員がおっしゃったように、B案は渡り廊下を建設して、解体するという分B案の方が高くなってしまいますが、それは財政状況を見ながら対応することも可能です。一度期でなく将来的に負担を延ばすことができます。
安藤委員	C案の事業費がおよそ39億円ぐらいだったと思うのですが、B案に変更することで、解体工事費が追加になり大幅に超してしまうことも見込まれるのではないのでしょうか。
事務局 (中山課長)	資材の高騰というのが事業費に大変大きく影響しており事業費そのものが既に膨らんでいます。
安藤委員	事業費が大幅に予算以上になってしまうということなら、致し方ないのかなと思いますが、C案からB案にすることによって、今後、もしかしたら資材費がさらに高騰するかもしれないですし、市の財政状況もどうなっているかわからない状態で先延ばしにするのは、不安なところがあります。

事務局 (中山課長)	大佐和中学校の屋内運動場の改修計画を始めた当初は、屋根の架け替えだけで済むという事業費を見込んでおりました。
安藤委員	しかし、大佐和中学校の屋内運動場の建て替えをしなくてはいけなくなってしまったということで、事業費が非常に大きくなりました。その影響もあり、全体として考えたときには、当初に想定した見込みを大きく上回っております。
事務局 (中山課長)	もう1点よろしいですか。前回の検討委員会で若月委員が、青堀小学校の屋根は問題ないのかという質問をした際に、構造上違うから問題ないとの回答を事務局からいただきましたが、先ほど中山課長が壁面の補強をするとおっしゃっていましたが、耐力度調査において、躯体強度が基準点以下になっているのは壁だけが要因なのでしょうか。
安藤委員	壁のみが点数の要因ではございませんが、大きな問題としては、建築してから年数が経っておりますので、老朽化によるものになります。
事務局 (中山課長)	その老朽化をしている青堀小学校の体育館を後回しにするのは問題だと思います。
安藤委員	そのために過去に大規模改修等も行っておりますので、今すぐに青堀小学校の体育館が崩壊するといった危険な状態にあるというわけではございません。
平野委員長	とはいっても、どちらが優先かは分かりませんが、体育館とプール、2つとも後回しにするのではなくて、体育館は改築してほしいというのが私の意見です。
平野委員	ご意見ありがとうございます。他の委員の皆様、ご意見はいかがでしょう。はい、平野委員。
事務局 (中山課長)	事業費増嵩の件については、承知いたしました。子どもたちのことを考えた場合、やはり最低でも体育館と一緒に改築していただいたほうが良いなと思います。 結局、今のグラウンドに校舎が建って、体育館は既存の場所

<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>となると長距離になってしまう。何か行事があるときや災害時等の行動を考えると、校舎に近い場所に一緒に改築していただいたほうがいいなと思います。</p> <p>可能ならば、私どもも、体育館とプールも一緒にと考えております。それが実現できないところもありますが、校舎の配置ですとか、そういったところで工夫をして、児童の負担が少しで減らせるように計画をします。</p> <p>また、校舎の中にちょっとした集会や、集まることができるようなスペースを設けるといった工夫をこれから検討してまいりたいと思います。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>体育館は現状で避難所としては問題ないとおっしゃっていましたが、次回までに調べておいてほしいです。その辺りも考えながら、一緒に改築してもらいたいと思います。</p>
<p>平野委員長 小柴委員</p>	<p>ご意見ありがとうございます。はい、小柴委員。</p> <p>確認になりますが、小学校全体の改築の基本計画みたいなものは教育委員会で出来ていますか。</p> <p>老朽化等、いろいろな条件が課されて、計画が出来ていることを前提に言うのであれば、今回の青堀小学校の屋内運動場とプールは、いつの時点で計画されているのでしょうか。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>1つ目の質問の回答になりますが、全体の計画があるかというところは、学校施設整備計画というものを策定して、老朽化状況や不具合を調査、把握いたしまして、この学校を先に対応しないとイケないといった計画を決めております。</p>
<p>小柴委員</p>	<p>私は本検討委員会が初めての出席なので、今までの経緯は資料でしか見ていないのですが、当初、屋内運動場とプールも校舎と一緒に改築ということで計画してきた、大佐和中学校の体育館の問題が出てきて、青堀小学校の計画が先延ばしになることをお聞きしました。</p> <p>青堀小学校の屋内運動場とプールの改築を行うのは、令和何</p>

<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>年度になるのでしょうか。</p> <p>具体的な年度の目途は立っておりませんが、他の学校施設も老朽化がより進んでおり、子どもたちに安全な教育環境を提供できないという建物の劣化状況と、富津市全体の財政状況を考え合わせて、できるときに計画させていただく考えです。具体的な年度は、今の段階ではまだ計画にありません。</p>
<p>平野委員長</p>	<p>全体的に校舎が老朽化していて、優先順位は決めています。とはいえ老朽化に伴って、修繕しなくてはいけないので、場対応的にはなってしまうのですが、そういった対応をしております。</p> <p>理由を申し上げますと、今の事務局の説明のとおりですが、財政状況により予算面で全てを対応することができないということ、長期的に考えていくとしても、限られた予算の中で計画していくことが困難であるためです。</p> <p>年度が決まっていないというのが、不安材料であるというお話を頂きましたが、こちらも回答がなかなか難しいです。危険がないようにということで、現場の調査点検や老朽化に対する修繕を行うことが、現状での最大限の対応になります。耐震診断等の調査を行い、検査しながら、老朽度を見ていきます。ご理解いただければと思います。</p> <p>なお、この方針は教育委員会だけで決めているものではないと思います。財政フレームが大きく要因としてありますので、これが今、富津市でできる限りの対応ではないかということで、ご説明させていただきました。はい、榎本委員。</p>
<p>榎本委員</p> <p>事務局 (中山課長)</p> <p>安藤委員</p>	<p>こちらの方針について保護者等にアンケートは行わないのですか。</p> <p>アンケートの実施は考えておりません。</p> <p>校舎と体育館を繋ぐ、渡り廊下についてですが、今の校舎を</p>

<p>平野委員長</p>	<p>壊して建設すると思うのですが、工事をするときに児童がどこを歩いていくのかなと考えたとき、体育館まで行くのに、渡り廊下を使って校舎を建設するので、危ないような気がします。</p> <p>ご意見ありがとうございます。宮崎主幹、その辺りの工事過程や、渡り廊下を使用することが最善になる考え方を教えていただけますか。</p>
<p>事務局 (宮崎主幹)</p>	<p>はい、渡り廊下は、校舎を建設して体育館が今の場所にありますので、既存の校舎の解体よりも先に渡り廊下を作ります。建設と解体のエリアは、当然安全柵等で区画を分けて、安全を重視して工事を行いますのでご心配はありません。</p>
<p>安藤委員</p>	<p>渡り廊下の配置は今の校舎側の森側に建設するということでしょうか。</p>
<p>事務局 (宮崎主幹)</p>	<p>森側なのか、国道側なのか色々な案がありますが、それは今後の計画の中で詰めていきます。一番単純に考えると、おっしゃったように森側に寄せて渡り廊下を作って、校舎との間に塀を立てて、その内側で解体をする。廃棄物の搬出をする場所も、ちゃんと塀で囲った中から搬出する。児童とその工事の車両の動線が重複しない形を考えますので、安全対策についても心配ないと思います。</p>
<p>安藤委員 事務局 (宮崎主幹)</p>	<p>渡り廊下の距離はどのくらいになりますか。</p> <p>大体 100m から 150m の間ぐらいの距離になるのではないかと予想です。</p>
<p>安藤委員</p>	<p>渡り廊下が長いと、45分授業で10分休憩だと、移動が大変かなと思います。</p>
<p>平野委員</p>	<p>校舎の端からではなくて、教室からの移動になりますからね。</p>
<p>事務局 (宮崎主幹)</p>	<p>計画の中で、諸室の中で多目的室といった、いろいろなもので、低学年が、ちょっとした運動ができるような、多目的スペースを計画し、運用することによって、対応可能かなということも</p>

<p>安藤委員 平野委員長</p>	<p>考えております。今後、校舎の計画の中で練っていくという方向性がいいのかなというように事務局の方で相談しているところです。</p> <p>わかりました。ありがとうございます。</p> <p>事務局の方からも話があったのですが、体育館の件が一番の焦点になるかと思えます。事務局の話として、ご理解いただけるかどうかというところと、その他のご意見がありましたらお話いただければと思います。</p> <p>突然のお話で、混乱してしまうと思いますので、ご意見を全ての方にいただきたいと思えます。はい、河野副委員長。</p>
<p>河野副委員長</p>	<p>状況は事前に説明を受けていますし、重々わかります。昨年大貫小学校に勤めていましたので、お隣の大佐和中学校が大変だと承知しておりますが、私が少し引っかかっている部分は、先ほど榎本委員や小柴委員もおっしゃっていた、屋内運動場とプールは将来検討とし、何年度に実施するかは決まっていないというようなお話をいただいて、決まっていない理由の1つとして、青堀小学校以外の学校施設の老朽化が進んできているということが挙げられています。</p> <p>しかし、これはもうわかっていたことですよね。他の学校も傷んできていて、わかっていた上で青堀小学校を改築しようという計画の中で、大佐和中学校の体育館の話がでてきた。</p> <p>他の傷んでいる学校に資金を回していったときに、いつになったら、青堀小学校の順番が回ってくるのかなって考えたら、10年、20年先になってしまうのではないのかなというのは予想がつきます。</p> <p>青堀小学校の校舎を改築するだけでも、こうやって検討を始めてきて、1年先延ばしとなっているのに、それが終わって次の学校、例えば飯野小学校、富津小学校と計画したときに、どのように青堀小学校の体育館が入ってくるのかなというのは</p>

すごく懸念されるところです。

ましてや、渡り廊下をきちっと作ってしまったら、それを1年、2年ですぐ壊して、またすぐ体育館を建てるというのは考え難いことで、20年程先になってしまうのではという不安はすごくあります。

プールについては夏季にしか使用しないものですし、もしかしたら外部への委託もあるかもしれないので、それは仕方がないと思います。しかし、体育館については、本当はできれば一緒にやっていただきたいけど、そうでなければ、およそ何年後にということを示していただけると、保護者や地域の方の理解も得やすいのではないかなと思いました。将来検討だと、このまま流されちゃうのではないかなと感じてしまいます。富津市の現状を見ても、おそらくいっぱいやらなきゃいけないことがありますから。

これから10年経つと子供たちが減ってくるというお話もありますが、青堀小学校の体育館の現状としては、すごく狭くて窮屈なので、全校児童が集まると体育館がすごく混雑してしまい、身動きが取れない状況にあります。

体育館については、将来検討ではなく、この時期ぐらいまでには頑張りますということを示したらいいいと思います。

期限を切ることの財政フレームがないことと、大佐和中学校体育館改築の件が、私どもも想定外のお話でした。安心安全のためには、一番危険なものを直していくというのが、どうしても急務ですので、事務局が年数を切れず、見通しを将来検討とせざるを得ないところは悩ましいですが、数字で弾くということが難しいのでお答えができないというところです。明確に何年度といった時期を出すことが出来ないなので、将来検討という表現としております。

皆様方のおっしゃっていることは、非常によくわかっており

平野委員長

	<p>ます。ただ事務局としても、この案を出していくには、それなりの内部での調整、検討を進めさせていただいた結果でお示しておりますので、ご理解頂ければと思います。</p>
<p>安藤委員</p>	<p>10年後の青堀小学校の体育館の耐力度はどのぐらいになるか予想していますか。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>将来の耐力度は算出しておりません。</p>
<p>安藤委員</p>	<p>今でも基準値の4500点を下回っているのに、10年後はもっと下回っていると思います。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>そのまま使うのではなく、耐力度調査によって劣化が進んでいる部材の結果を参考にして、補強を行った上で利用する計画になっています。</p>
<p>平野委員長</p>	<p>ご意見をいただいていない委員の皆様よろしければお願いします。若月委員いかがですか。</p>
<p>若月委員</p>	<p>皆さんと一緒に、屋内運動場はできれば改築していただきたいなどは考えていましたけども、事務局の説明も分かるので、無理はできないのかなという考えもあります。</p> <p>プールについて質問になりますが、事業費縮減を検討されている中で、プールは作るのか外部の施設を使うのかという意見もあったので、今回建設計画の見直しをするにあたって、プールはもう使わないようにしようという検討もされたのですか。</p>
<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>富津市では、学校だけでなく、公民館やコミュニティセンター等も含む公共施設再配置推進計画というものがございしますが、その中で、学校プールというのは中学校区に1校のプールを共同利用しましょうという考え方がございます。あとは県営や民営プールといった、公共施設も活用していこうという方向性を示しております。この方向性について具体的な方策の整理を進めているという状況で、プールの建設計画はまだ整理ができておりません。検討を重ねております。</p>

平野委員長	高橋委員いかがですか。
高橋委員	富津市の状況についてお話は理解できました。
平野委員長	檜山委員いかがですか。
檜山委員	皆さんがおっしゃっていたように、体育館は早めをお願いしたい気持ちです。市の方が検討していただいた話をお聞きして、仕方がないのかなと思います。
平野委員長	野尻委員いかがですか。
野尻委員	若月委員がおっしゃっていたように、プールの建替えに関するアンケートでは 50%くらいの方が、学校にプールを設置して、水泳授業を行う授業形態が望ましいと回答していたため、このアンケートの回答を参考にして、プールを建てるかどうかの検討を進めていただければと思います。 また、今回事業費増嵩の件で、屋内運動場とプールが先延ばしになってしまうことは、何かしらの形で保護者に説明などはしてくれるのですか。
事務局 (中山課長)	これまで同様、この検討の過程は、改築ニュースと市ホームページでお知らせさせていただきます。説明会等のご要望がございましたら、学校と相談しながら検討してまいります。
平野委員長	はい、榎本委員。
榎本委員	新校舎ができて、旧校舎の解体が始まり、グラウンドがないという状況となると、体育の授業は今の狭い体育館を使うしかないのですか。
平野委員長	ご質問ありがとうございます。工事の方法やグラウンドの有効利用の実態といった考え方の質問でよろしいでしょうか。今、具体的な明確な工事方法のお話をするには、決定していないため、断言することはできませんが、工事中のグラウンドの使い方についての説明を事務局お願いします。
事務局 (中山課長)	まだ校舎の配置を明確に決めておりませんが、少し小さめのグラウンドを用意できるのか、プール脇に遊具が設置してある

事務局 (宮崎主幹)	<p>場所が現在あるのですが、そういった場所をクラスごとの運動ができるように整備するといった工夫をこれから検討してまいります。</p> <p>補足になりますが、他の学校に視察行ったところでも、工事中に、グラウンドがなくて使えないと、体育ができないというような場合はですね、工夫して一定の大きさのスペースを確保することで、体育の授業を行えるというような事例があったので、学校側と協議しながら、仮設的に、外でかけっこや運動ができる、最低限のスペースを全体の計画に取り入れるという形で考えていきたいと思っております。</p>
平野委員長	<p>A案、B案、C案の3つの案を示した際も、グラウンドの問題は当然想定していましたので、工事中は全部自由に使えるわけではないのですが、グラウンドを整備する間は、少し狭いエリアで体育の授業をするということで、協力していただく形になるかと思えます。</p>
榎本委員 事務局 (宮崎主幹)	<p>暫定的に使えるスペースであったり、教室棟などに運動施設に代わるようなスペースを作ったりで対応していくということですね。</p>
榎本委員 事務局 (宮崎主幹)	<p>費用がないのに、運動のできる教室を作れるのですか。</p> <p>教室ではなく、グラウンドの中に仮設のスペースとした運動のできるエリアを提供できるような計画するということになります。今この場所になりますっていうことは断言できず、申し上げられないのですが、全体の計画の中にそういうものを当然盛り込んで計画をするという形になると思えます。</p>
榎本委員	<p>室内型の運動できる部屋がなくて、体育館の使用頻度が増えるかなと思いました。</p>
事務局 (宮崎主幹)	<p>当然体育館も使用し、外の体育になると、最低限のスペースになるかと思えますので、検討を行いたいと思えます。昨年も校長先生と相談させていただいたのですが、仮設の運動場の面</p>

<p>平野委員長</p>	<p>積を算出したところ、できるというようなお話もいただいておりますので、仮設運動場については協議し、進めていくようになるかと思えます。</p> <p>委員の皆様、ご意見等ありがとうございます。事務局案による建設計画及び事業スケジュールの見直しについて、この事務局の方針にご理解いただけているという方の挙手をいただきたいと思えます。</p>
<p>小柴委員</p>	<p>予算の中で行わなくてはいけないものですから、予算があれば、こういった協議が必要なかったわけですよ。</p> <p>大佐和中学校の体育館が大変な状況にあるというのはわかるのですが、今、提示している案は、もう最低限それでしかやれないというものでご説明されたのですよね。</p> <p>それはやむを得ないと思えますが、青堀小学校の屋内運動場の改築が、大体令和10年、15年になるなど暫定的なものでいいので、一応計画に入れることはできないのでしょうか。</p>
<p>事務局 (宮崎主幹)</p>	<p>通常時であれば、建設コストは大きく増減、増加することはあまりないのですが、昨今のウクライナ情勢で、資材の高騰化が過去に例を見ないほどに影響を受けまして、資材だけで20%ぐらい上がっています。建設時期に換算すると、労務費を含め約1.5倍になり、同じものを作っても、1.5倍上がってしまいます。もし同じ値段で作りたいのならば、その50%分を小さくするか、なにかを辞めるしか方法がないのですが、それは小学校に必要なものを作るためには、現実的にはできない現状にあります。</p> <p>最近では上昇率が少し安定はしてきているのですが、高止まりの状況で、今後は見据えられそうにないので、試算をするのが非常に難しい状況にあります。建設費を委員の皆様にお示ししたときよりも、相当上がっている状況にはありますが、平常期である2年前くらいのコストまで下がれば、もう少し考えよう</p>

があるのですが、今の金額で試算していくと、数字ではどうしても示せないという現状であるということをご理解いただくと非常に助かります。

好転してくれば、財政フレームを見直して、また新たに検討して、その費用に見合うものに変更していくということは事務局の方で考えております。

しかし、好転の兆候が全くない見えない状態で、例えば、青堀小学校でいうと 30 億ぐらいというお話をしていたのが、1.5 倍だと 45 億になってしまうことが予想されます。今後、物価の変動を見ながら適正な時期にやらなくてはいけないことは重々承知しておりますので、このような対応で計画させていただきたいと考えております。

小柴委員

数字が示せないのは現状のお話であって、例えば令和 10 年、15 年に屋内運動場を整備するかどうかを計画してはどうかと話したのです。

平野委員長

もちろん整備計画に入れる形に今もなっておりますし、ただ今、具体的な整備レベルの時期が出せない理由を具体的に申し上げます。

繰り返してしまいますが、なぜ、事務局がこのように明確に断言できないかということ、同時並行で計画している共同調理場がございます。共同調理場も同じような状況にありまして、通常の建設価格が値上がりし、予算がかなり上がってしまったため、議会の方でも、補正を何度となくさせていただいて、計上しております。

共同調理場等の今動かしているものについても、そういった対応をしておりますので、これがより将来的な対応となりますと、さらに試算が難しくなるころなので、明言ができないというような状況であります。ですからここはなかなかご理解いただけないと難しいなとは思いますが、いかがでしょうか。

榎本委員	<p>校舎改築工事が令和9年度に始まって、11年度に工事が終わるとしても、令和12、13年度には体育館をつくる予定だと明言した方が良くと思います。その時にも高騰していたら、そのときにはもう一度考えれば良いと思います。いつになるのか分からないというのは不安です。今日たくさん意見が出たので、もう一度協議願いたいです。</p>
平野委員長 事務局 (中山課長)	<p>事務局、この件についてはどうでしょうか。</p> <p>委員の皆様がおっしゃられたことは、十分承知しております。私どもも、早期に体育館を改築して、児童たちの環境を整えたいという思いは一緒です。</p> <p>何度も同じことを言ってしまう申し訳ございませんが、資材の高騰化も含め、他の学校の校舎の老朽化も本当に進んでおります。今までの全体の計画では、校舎を直していく計画を作っているのですが、改修ではなく、建て替えなくてはならないほどの状態になっていることを考え合わせると、他の学校の子供たちにとっても、教室の環境を整えてあげることが大事なことです。</p> <p>例えば、2、3年先になったら青堀小学校の体育館とプールが計画できるかもしれないと見通しができたら、できるだけ早くに行動したいというふうには考えております。ご理解いただきたいと思います。</p>
平野委員長	<p>明確に示せないという状況だと思います。いかがでしょうか。これはご理解いただくしかないです。皆様のご理解の上で、前向きに検討を進めていただければと思います。</p> <p>明確な年次計画や位置付けは難しいのですが、予算的な裏付けなど対応できるような状況になったときには、もちろん併せて整備を進めていくということでご理解いただけるでしょうか。</p>
小柴委員	<p>長期的な計画を見直して計画に入れるということくらいは</p>

平野委員長	<p>できないのですか。</p> <p>整備レベルは示せないですが、引き続き小中学校校舎整備スケジュールをローリングし、整備をリンクさせながら進めていくという考えはもちろんございます。</p>
榎本委員	<p>直す気持ちはないのですね。</p>
平野委員長	<p>そうではなくて、まずは校舎を改築したいという事務局の案でございます。決してやらないということではなく、財政フレームの見通しが立った段階で、進めていくべきものと判断しておりますので、そこをご理解いただければと思っています。</p>
野尻委員	<p>将来検討を具体的にすればいいのではないですか。</p>
平野委員	<p>予算がないということでお話されていたのですが、資材の高騰の件で、今はウッドショックも落ち着いて、輸入木材に関しては、m^3単価は値下がりしていて、建築資材についても余っている状況なので、今後多分下がっていくと思います。1.5倍のところはどのくらいにまで下がるかを調べていただければと思います。</p>
事務局 (宮崎主幹)	<p>建設にかかる資材については、概算出すときに動向というのは調べており、下がり気味のものがあることは承知しております。</p> <p>ただ上がっているものの数が多く、積み上げると、1つのものを作ると、やはり下がっているものが全部下がってくればいいのですが、上がっている方のものが多いということと、現場の納めているものも、その流通によってすぐ反映しているものや、なかなか反映しないもの、労務単価は後から上がってきたり、それぞれの反映にずれがあるので、全体的に見ると、今のところ下がる方向の見込みがなかなか見つからない状況を把握しております。</p>
平野委員長	<p>平野委員がおっしゃっている、下がっている資材もあるという傾向もあるので、建築資材等を精査し、建築に向けての検討</p>

<p>河野副委員長</p>	<p>を進めてほしいという意見でした。</p> <p>たくさんのご意見をいただいて、体育館も一緒に作っていただきたいという想いも非常に伝わってきて、青堀小学校長としても嬉しく思います。市の状況も非常によくわかりますし、資料を拝見して、「将来検討」というのは不安だなと自分も正直思ったところではありますが、だからといって、青堀小学校の体育館とプールの改築を断念してしまうということは絶対になりと思います。</p> <p>つい最近、プール掃除をしたら下に小さい穴が開いていて、1日2日で対応しなくてはいけないという問題もすぐ直してくださりました。</p> <p>本当に富津市のことを考えてくださっていますので、ここはまず校舎をきちんと整理していただけるということで、財政状況が戻ってきたら、計画していただけるということであれば、いろんな学校も直さないと考えますし、青堀小学校の子どもたちだけというわけにはいかないと思いますので、私は了承していきたいと考えております。</p>
<p>平野委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。それでは皆様から貴重なご意見等いただきました。議題といたしまして、建設計画および事業スケジュールの見直しについての説明を終了させていただきます。</p> <p><次第5 その他></p> <p>それでは続きまして次第の5その他でございますが、委員の皆様から何かございますか。はい、榎本委員。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>富津中学校の評議員をやらせていただいているのですが、先日、評議員会があって、校舎を回って授業参観をしたのですが、木材を使った部分があり、機能面についても非常に気を遣っていました。</p>

<p>事務局 (中山課長)</p>	<p>1つ気になったところは、木材の穴から虫が入っていたり、木くずが落ちている部分がありました。今後、検討を進めていくなかで、青堀小学校も参考にすべきだと思いました。</p>
<p>平野委員長 事務局 (山下係長)</p>	<p>ありがとうございます。参考にさせていただきます。</p> <p>事務局から何かありましたらお願いします。</p> <p>はい。事務局より次回の会議日程についてご案内申し上げます。今後のスケジュールでお配りさせていただきましたように、次回は9月の会議となります。詳細な日程につきましては、別途通知させていただきます。以上です。</p>
<p>平野委員長</p>	<p>はい、ただいま次回会議の日程についてのご説明がありました。長時間にわたり貴重なご意見等ありがとうございました。</p> <p>それでは以上をもちまして、全ての議事を終了といたします。円滑な議事進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。</p>
<p>事務局 (山下係長)</p>	<p><次第5 閉会></p> <p>平野委員長議事の進行ありがとうございました。委員の皆様も長時間に渡りありがとうございました。</p> <p>それでは以上をもちまして、第7回青堀小学校改築基本構想・基本計画検討委員会を閉会させていただきます。</p>